

見たい!行きたい!体験したい!
ゆるっと休日計画

水辺で遊ぼう! 干潟探検



川から流れ込む砂や泥が堆積した干潟では、干潮時、さまざまな生物を見ることができます。夏休み、親子で干潟観察に出かけてみませんか。

宮崎県内には、日向市の塩見川や串間市の本城川の河口など、8か所の干潟が現存します。今回は、宮崎市内中心部から車で10分ほどで行くことが可能な一ツ葉入り江の干潟を訪れてみました。



多様な生物がいきいきと暮らす干潟

川の水が海に流れ込む河口域や沿岸部で、潮がひいたときに海面上に現れる砂泥地のことを干潟といいます。みなさんご存知の潮干狩りの光景をイメージするといいでしょ。川から流れ出た砂や泥の堆積した干潟は豊富な栄養を含み、さまざまな生物のすみ処となっています。干潮の時間をめがけていくと、ふだんは見られないさまざまな生き物を観察できます。

一ツ葉入り江の干潟には、甲殻類約70種、貝類約65種、鳥類約65種が生息しています。ヒメシオマネキやオオシジミ、トゲノコギリガザミをはじめ、国内ではほとんど絶滅したムラサキガイやカニノテムシロなども見られます。一ツ葉入り江は駐車場やトイレなどの設備も整っており、初心者でも観察しやすい場所です。



こんな生物見～つけた!



ヒメシオマネキ
干潟に穴を掘って集団で住んでいる。



フトヘナタリとカワアイ
ともに絶滅危惧種に指定されている。



ムラサキガイ
厚くて細長い殻が特徴的な二枚貝。



オオシジミ
まん丸な二枚貝。泥の色で黒くなることも。



カニの糞
小さい円形の糞が干潟を埋めつくしている。



トゲノコギリガザミ
成長途中で脱皮した殻もたくさん見られる。

干潟観察のポイント

- 場所を確認しておきましょう
危険な場所や危険な物がないかなど、事前に下見をしておきましょう。
 - 記録をつけましょう
日付、観察時間、天気、見つけた生き物などを、ノートやカメラで記録しましょう。
 - 潮見表を調べてから行きましょう
潮がひいたときに干潟が現れるので、必ずその日の干潮時間を調べておきましょう。
 - 満潮に注意しましょう
観察に熱中している間に潮が満ちてきて取り残されることも。潮の干満には気をつけましょう。
- * 干満の時刻は新聞の天気予報欄や気象庁のホームページで確認できます。



- 熱中症予防のために水や帽子を持っていく
- できるだけ長袖シャツや軍手を着用する
- 足元は長靴やスポーツサンダルを

以前は全国各地で見られた干潟。しかし、開発によって徐々に姿を消しています。生物のすみ処となるほか、川の汚れが海に流れ込まないように濾過する役割も干潟にはあります。みんなで豊かな干潟を守っていきましょう。